

One USインカムオープン 毎月決算コース（為替ヘッジなし）

（旧ファンド名称：MHAM USインカムオープン毎月決算コース(為替ヘッジなし)）

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年11月11日～2026年5月11日

第288期	決算日：2025年12月10日	
第289期	決算日：2026年 1 月13日	
第290期	決算日：2026年 2 月10日	
第291期	決算日：2026年 3 月10日	
第292期	決算日：2026年 4 月10日	
第293期	決算日：2026年 5 月11日	
第293期末 (2026年5月11日)	基準価額	12,863円
	純資産総額	4,295百万円
第288期～ 第293期	騰落率	6.6%
	分配金合計	180円

（注1）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

（注2）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

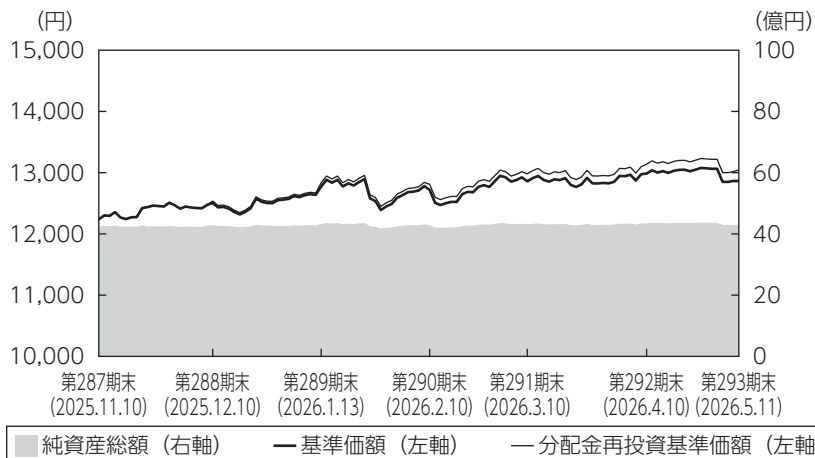
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第288期首： 12,237円
 第293期末： 12,863円
 (既払分配金180円)
 騰落率： 6.6%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

「LA USインカムマザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の高格付け債やハイイールド債、転換社債等の株式関連債に投資した結果、債券市場が上昇したことや米ドルが対円で上昇したことなどから、基準価額(税引前分配金再投資ベース)は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第288期～第293期		項目の概要
	(2025年11月11日 ～2026年5月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	115円	0.904%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,704円です。
（投信会社）	（ 56）	（0.439）	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（ 52）	（0.411）	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 7）	（0.055）	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.026	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 3）	（0.024）	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
（監査費用）	（ 0）	（0.001）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	118	0.930	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

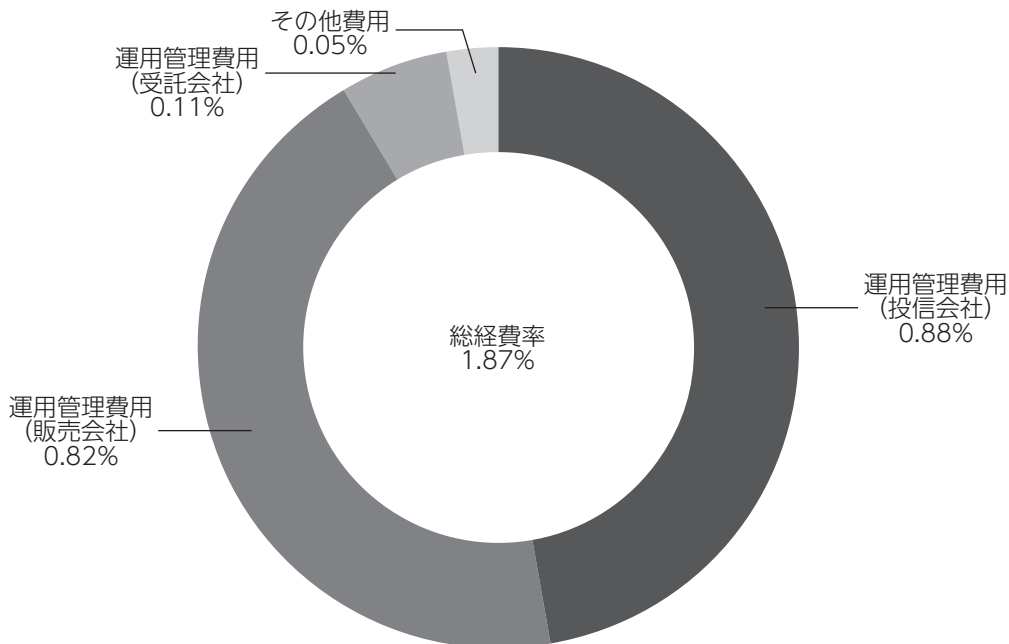
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



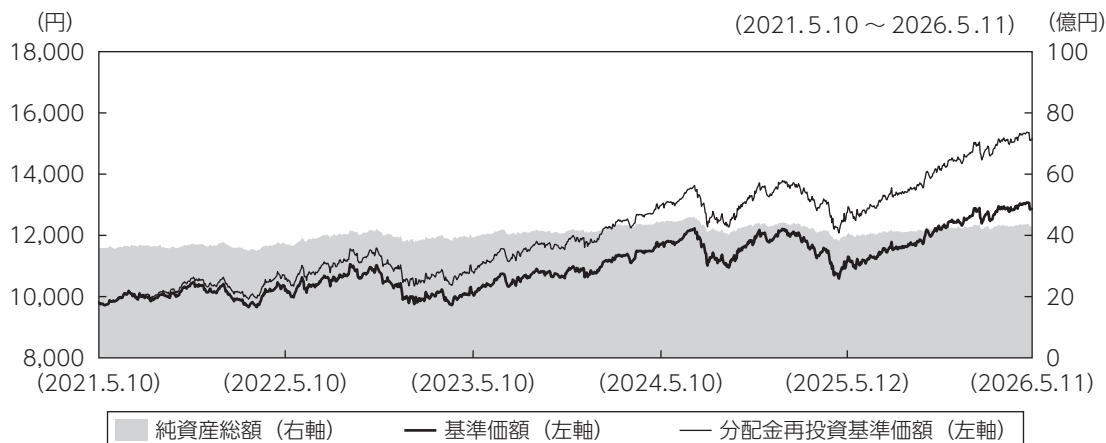
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



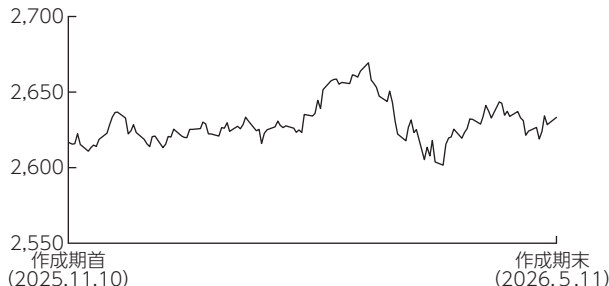
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2021年5月10日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2021年5月10日 期首	2022年5月10日 決算日	2023年5月10日 決算日	2024年5月10日 決算日	2025年5月12日 決算日	2026年5月11日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,810	10,190	10,068	11,702	11,148	12,863
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	7.7	2.3	20.1	△1.7	18.8
高格付け債指数 (円換算ベース) の騰落率 (%)	—	7.8	4.0	16.1	△1.5	13.0
ハイイールド債指数 (円換算ベース) の騰落率 (%)	—	10.9	6.7	27.4	1.4	16.5
株式関連債指数 (円換算ベース) の騰落率 (%)	—	2.0	4.4	28.2	4.5	48.2
純資産総額 (百万円)	3,600	3,696	3,935	4,442	4,024	4,295

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は高格付け債指数 (円換算ベース)、ハイイールド債指数 (円換算ベース) および株式関連債指数 (円換算ベース) です。参考指数については後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。
- (注2) 各参考指数は、基準価額への反映を考慮して、前営業日の値 (米ドルベース) を用い、当社が独自に当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しています (以下同じ)。

投資環境

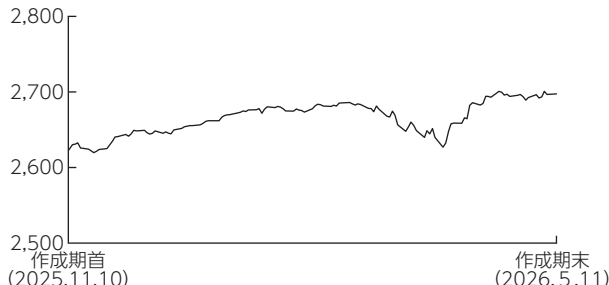
＜高格付け債指数（米ドルベース）の推移＞



＜高格付け債＞

米国高格付け債市場は、上昇しました。作成期前半は方向感なく推移しましたが、2026年2月以降は、求人件数の減少などを受けた雇用軟化への懸念やプライベートクレジット市場を巡る動向などを背景とした金利の低下につれ上昇しました。3月に入り、中東情勢の緊迫化を受け米利下げ観測が後退したことなどから下落に転じましたが、作成期末にかけては再び上昇しました。

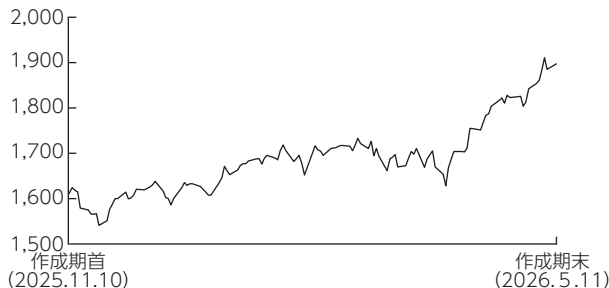
＜ハイイールド債指数（米ドルベース）の推移＞



＜ハイイールド債＞

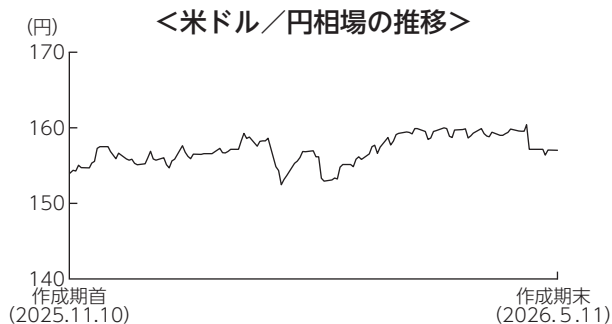
米国ハイイールド債市場は、上昇しました。作成期前半は、堅調な米企業決算が好感されたほか、利下げ期待が高まったことなどから、上昇基調で推移しました。2026年2月下旬以降は、中東情勢やプライベートクレジット市場への懸念から下落に転じたものの、作成期末にかけては米国とイランの停戦合意を背景にリスク回避姿勢が後退し再び上昇しました。

＜株式関連債指数（米ドルベース）の推移＞



＜株式関連債＞

米国株式関連債市場は、上昇しました。作成期初はAI（人工知能）関連銘柄を中心に株式市場で過熱感への警戒感が強まる中、下落しました。その後は強弱材料が交錯する中、一進一退で推移しましたが、作成期末にかけては、米国とイランの停戦合意を背景にリスク回避姿勢が後退し上昇しました。



<為替市場>

米ドルは対円で上昇しました。2026年1月中旬にかけては、日本の財政拡張への懸念や、日銀が2025年12月の会合で利上げを実施したものの、その後の方針への不透明感などから上昇しました。その後は、日米当局によるレートチェックと見られる動きなどから下落する場面もありましたが、2月中旬以降は米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃が続く中、有事のドル買い需要などから上昇基調で推移しました。作成期末にかけては、政府・日銀が円買い・ドル売りの為替介入を実施したことなどから上昇幅を縮小しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

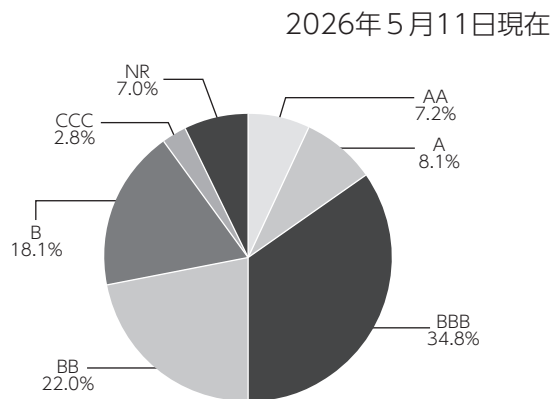
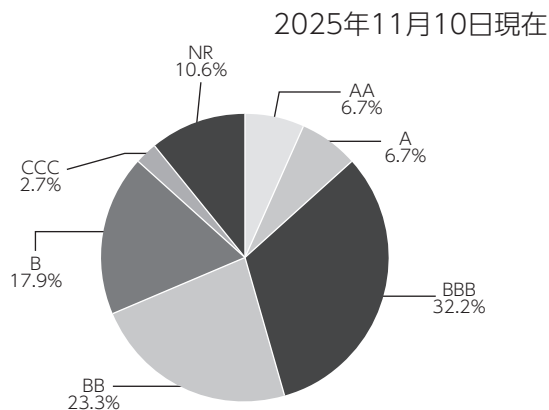
「L A U S インカムマザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。また、組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

●L A U S インカムマザーファンド

資産・債券種類別では、高格付け債およびハイイールド債の比率を高めとするポートフォリオを維持しました。格付け別では、B B B 格の比率を引き上げた一方で、無格付けの比率を引き下げました。また、債券の組入比率は高位を維持しました。

上記の運用を行った結果、債券市場が上昇したことや米ドルが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

<公社債の格付け別構成>



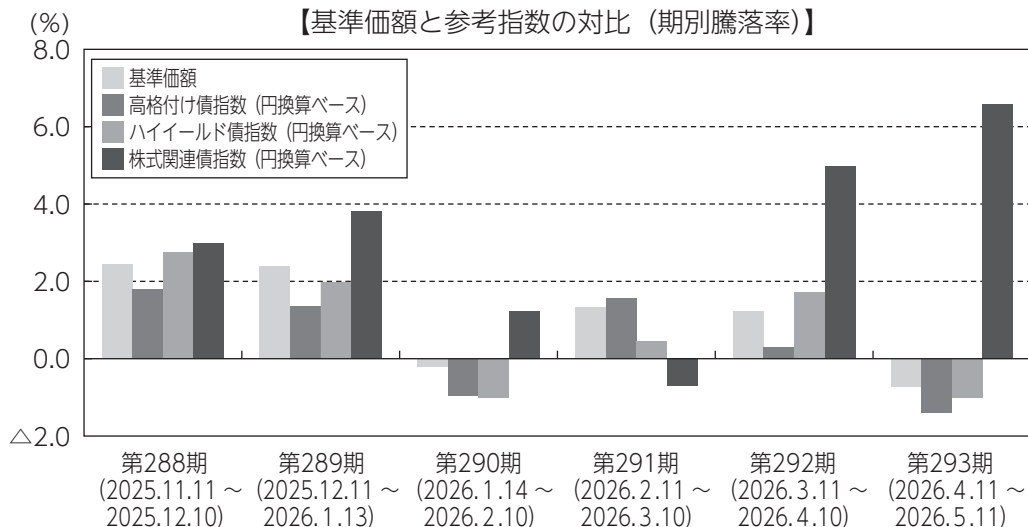
(注1) 格付け別構成は、マザーファンドの公社債現物に対する評価額の割合です。（新株予約権付社債（転換社債）を含みます。）

(注2) 格付けはS & P、Moody'sのうち、低い方の格付けを採用しています。（表記方法はS & Pに準拠）

(注3) 格付けが付与されていない銘柄についてはNRと表示します。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、基準価額水準、市場動向および商品性格等を勘案して、下記のとおりいたしました。なお、収益分配に充てず信託財産に留保した収益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第288期	第289期	第290期	第291期	第292期	第293期
	2025年11月11日 ～2025年12月10日	2025年12月11日 ～2026年1月13日	2026年1月14日 ～2026年2月10日	2026年2月11日 ～2026年3月10日	2026年3月11日 ～2026年4月10日	2026年4月11日 ～2026年5月11日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.24%	0.23%	0.24%	0.23%	0.23%	0.23%
当期の収益	30円	30円	29円	30円	30円	30円
当期の収益以外	－円	－円	0円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	4,189円	4,458円	4,457円	4,543円	4,669円	4,676円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「L A U S インカムマザーファンド」の組入れを高位に維持する方針です。また、組入外貨建資産に対して、為替ヘッジを行いません。

●L A U S インカムマザーファンド

米国の高格付け債やハイイールド債、転換社債等の株式関連債を主要投資対象とし、信託財産の中・長期的な成長を目指します。

資産配分については、高格付け債およびハイイールド債を中心としたポートフォリオとし、高格付け債については、社債の割合を高め維持する方針です。株式関連債については、利回りを重視しつつも、株価との連動性についても意識した銘柄選択を実施します。

個別銘柄選択においては、発行体の有する手元流動性、経営陣の質、実物資産の価値を重視します。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■ファンド名称を「MHAM USインカムオープン毎月決算コース（為替ヘッジなし）」から「One USインカムオープン毎月決算コース（為替ヘッジなし）」に変更しました。

（2026年2月11日）

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「LA USインカムマザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

（2026年4月1日）

■第13条（受益権の申込単位および価額）の付表「(1)別に定める各信託」に記載のファンド名を以下のとおり変更しました。

【変更前】

MHAM USインカムオープンAコース（為替ヘッジあり）

MHAM USインカムオープンBコース（為替ヘッジなし）

【変更後】

One USインカムオープンAコース（為替ヘッジあり）

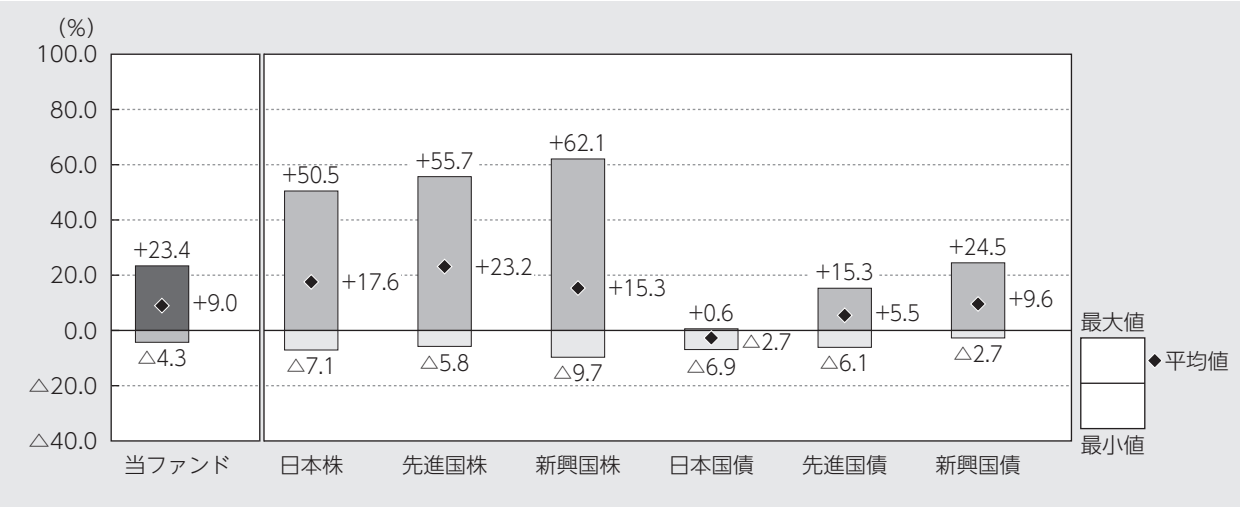
One USインカムオープンBコース（為替ヘッジなし）

（2026年5月1日）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2001年12月3日から無期限です。	
運 用 方 針	主として、米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	One US インカム オープン毎月決算コース (為替ヘッジなし)	LA US インカムマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、債券等に直接投資する場合があります。
	LA US インカム マザーファンド	米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債を主要投資対象とします。
運 用 方 法	米国の債券市場3セクター（高格付け債・株式関連債・ハイイールド債）に分散投資します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 LA US インカムマザーファンドにおける運用指図に関する権限をロード・アベット・アンド・カンパニー エルエルシーに委託します。	
分 配 方 針	年12回（原則毎月10日）決算を行い、原則として配当等収益等を中心に分配を行います。ただし、基準価額水準によっては、売買益等が中心となる場合があります。収益分配に充てず信託財産に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年5月～2026年4月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…NOMURA-BPI国債
先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2026年5月11日現在）

◆組入ファンド等

（組入ファンド数：1 ファンド）

	第293期末
	2026年5月11日
L A U S インカムマザーファンド	99.0%
その他	1.0

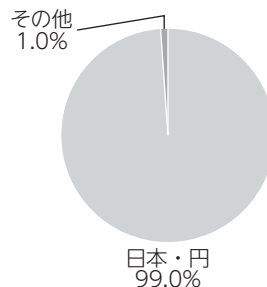
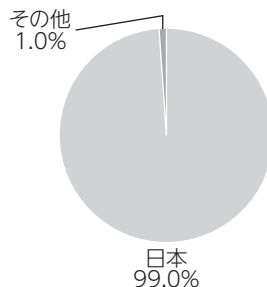
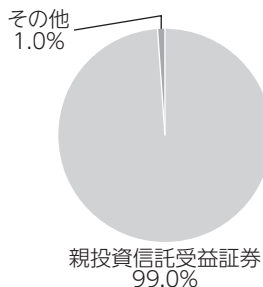
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

◆国別配分

◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

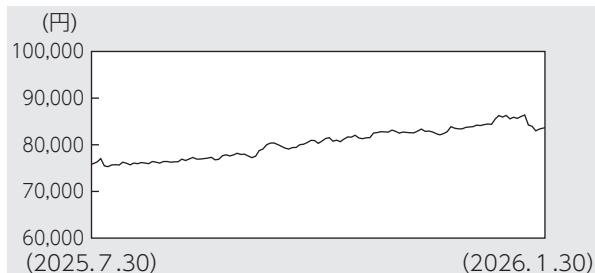
項目	第288期末	第289期末	第290期末	第291期末	第292期末	第293期末
	2025年12月10日	2026年1月13日	2026年2月10日	2026年3月10日	2026年4月10日	2026年5月11日
純資産総額	4,286,471,995円	4,325,038,734円	4,287,729,157円	4,312,815,916円	4,344,017,631円	4,295,815,822円
受益権総口数	3,427,571,378口	3,385,689,622口	3,371,142,500口	3,353,854,260口	3,345,255,734口	3,339,585,204口
1 万口当たり基準価額	12,506円	12,774円	12,719円	12,859円	12,986円	12,863円

（注）当作成期間（第288期～第293期）中における追加設定元本額は46,267,476円、同解約元本額は167,756,680円です。

組入ファンドの概要

【LA USインカムマザーファンド】（計算期間 2025年7月31日～2026年1月30日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

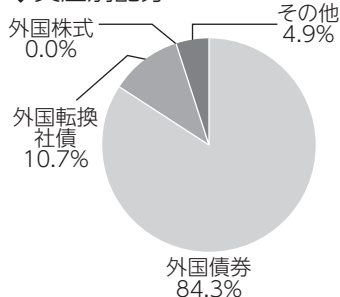
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 4.625 11/15/44	アメリカ・ドル	2.8%
US T N/B 4.75 11/15/53	アメリカ・ドル	1.6
ADVANCED ENERGY IND 2.5 09/15/28	アメリカ・ドル	1.3
SEMTECH CORP 1.625 11/01/27	アメリカ・ドル	1.1
GUARDANT HEALTH INC 1.25 02/15/31	アメリカ・ドル	1.1
FRESHPET INC 3.0 04/01/28	アメリカ・ドル	1.0
FORD MOTOR CREDIT CO LLC 4.0 11/13/30	アメリカ・ドル	0.9
PATRICK INDUSTRIES INC 1.75 12/01/28	アメリカ・ドル	0.8
VEECO INSTRUMENTS INC 2.875 06/01/29	アメリカ・ドル	0.8
GRANITE CONSTRUCTION INC 3.75 05/15/28	アメリカ・ドル	0.8
組入銘柄数	467銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

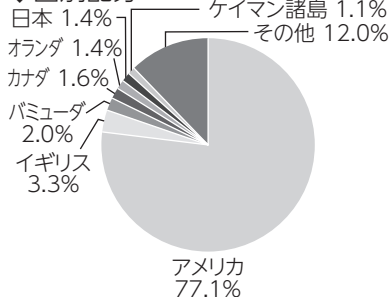
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	28円 (27)	0.035% (0.034)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	28	0.035

期中の平均基準価額は80,386円です。

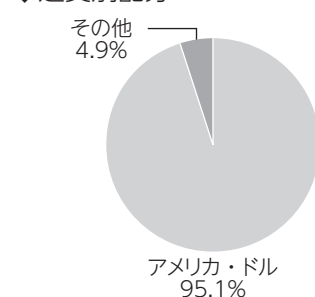
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜当ファンドの参考指数について＞

- 高格付け債指数 (ICE BofA US Corporate & Government Index)
- ハイイールド債指数 (ICE BofA US Cash Pay High Yield Index)
- 株式関連債指数 (ICE BofA All US Convertibles Index)

ICE Data Indices, LLC (「ICE Data」)、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示のいずれかを問わず、インデックス、インデックス・データ、及びそれらに含まれ、関連し、又は派生する一切のデータを含めて、商品性又は特定の目的若しくは使用への適合性の保証を含む一切の表明及び保証を否認します。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者サプライヤーは、インデックス、インデックス・データ若しくはそれらの構成要素の適切性、正確性、適時性又は完全性について、なんら損害賠償又は責任を負わず、インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は、現状有姿において提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、アセットマネジメントOne(株)又はその製品若しくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

- 「東証株価指数 (T O P I X)」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利は J P X が有しています。
- 「M S C I コクサイ・インデックス」は、M S C I I n c . が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c . に帰属します。また、M S C I I n c . は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「M S C I エマージング・マーケット・インデックス」は、M S C I I n c . が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c . に帰属します。また、M S C I I n c . は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「N O M U R A - B P I 国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「F T S E 世界国債インデックス (除く日本)」は、F T S E F i x e d I n c o m e L L C により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は F T S E F i x e d I n c o m e L L C の知的財産であり、指数に関するすべての権利は F T S E F i x e d I n c o m e L L C が有しています。
- 「J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバースィファイド」は、J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

